



日本自然保護大賞

2022 授賞記念シンポジウム

2022年 3月13日(日)

15:00~17:50 (受付14:30~、無料)

3×3 Lab Future (東京・大手町)

& YouTubeオンライン配信

授賞活動発表

大賞 保護実践部門

コクヨ株式会社、
四万十町森林組合

結の森プロジェクト
- 環境と経済の好循環を目指して

(高知県)



大賞 教育普及部門

里山クラブ可児

森と人、人と人が繋がり、創り伝える、
ふるさと“我田の森”

(岐阜県)



大賞 子ども・学生部門

京都府立宮津高等学校・
宮津天橋高等学校
フィールド探究部

丹後を駆けるF探のチカラ
- 地域の宝を探し、伝え、作り出す

(京都府)



自然保護と生物多様性保全に大きく貢献した、子どもから大人まですべての個人や団体、企業、自治体等を表彰する「日本自然保護大賞」。

第8回受賞者のみなさんから、地域の自然に根ざし、新しい発想や多様な協働で取り組まれている活動の成果をご発表いただきます。各地の魅力あふれる取り組みについてお話が聴ける、とっておきの機会です。ぜひ、お気軽にご参加ください。

選考委員特別賞

手賀沼水生生物研究会、
日本電気株式会社

事業所内の湧水池で、
多様なパートナーと希少種・普通種を守る

(千葉県)



選考委員特別賞

棟方有宗 (宮城県淡水魚類研究会、宮城教育大学)、
遠藤環境農園、
カントリーパーク新浜

東日本大震災の津波を転機とした
仙台沿岸域の田圃環境復元の試み
(宮城県)



参加方法

会場へのご来場：先着50名（無料、事前申込要）

お名前、ご所属、メールアドレスをお申し添えの上、
3月9日(水)までにメール、またはお電話にてお申込ください。

コロナウイルス感染拡大防止のため、来場者数を制限しております。感染拡大の状況によっては、ご来場を中止する場合がございますので、ご了承ください。

✉ award@nacsj.or.jp

☎ 03-3553-4101 (代表受付、平日 10:00 ~ 17:00)



Youtube ライブ配信
(無料、申込不要)

LIVE

<https://www.youtube.com/watch?v=A6W7PB4L56g>



授賞活動発表

大賞 保護実践部門

コクヨ株式会社、四万十町森林組合（高知県）

結の森プロジェクト - 環境と経済の好循環を目指して

四万十町の民有林を拠点に、森林保全と地域経済の好循環を生み出す「結(ゆい)の森プロジェクト」を2006年から展開。約100haのモデル林から始めた森林管理は5,425haまで拡大し、すべてFSC®森林管理認証を取得。間伐材家具や結の森ブランド文具を開発して全国販売も行っている。

大賞 教育普及部門

里山クラブ可児（岐阜県）

森と人、人と人が繋がり、創り伝える、ふるさと“我田の森”

荒廃していた我田(わかた)の森の整備・保全に20年にわたり取り組み、岐阜県第2号環境保全モデル林に指定されるに至った。森のようちえん、大学のゼミ研究、行政による環境学習講座、企業による社会貢献活動や里山体験ツアーの受け入れなど、多様なセクターとのパートナーシップを着実に広げている。

大賞 子ども・学生部門

京都府立宮津高等学校・宮津天橋高等学校 フィールド探究部（京都府）

丹後を駆けるF探のチカラ - 地域の宝を探し、伝え、作り出す

丹後地域全域で、巨樹や在来のタンポポ、人と自然との関わりを伝える財産を探し出し、その価値を発信。2021年から新たに、住民と協働して子どもが遊べる豊かな川づくり「人・川・ハッピー大作戦」に挑むなど、生徒一同が強い課題意識をもって地域の環境を守る人の輪を広げている。

特別賞/選考委員特別賞

手賀沼水生生物研究会、日本電気株式会社（千葉県）

事業所内の湧水池で、多様なパートナーと希少種・普通種を守る

2009年からNEC我孫子事業所内の湧水池で、絶滅危惧種であるオオモノサシトンボの生息維持とゼニタナゴの野生復帰に取り組んでいる。10年超にわたり池内の外来種駆除と在来種の生息環境整備に取り組んできたことで、時期・気象条件や外来生物の特性に合わせた効果的な低密度管理を実現しつつある。

特別賞/選考委員特別賞

棟方有宗（宮城県淡水魚類研究会、宮城教育大学）、遠藤環境農園、カントリーパーク新浜（宮城県）

東日本大震災の津波を転機とした仙台沿岸部の田圃環境復元の試み

東日本大震災による津波で生息地を失った在来メダカの野生個体群を取り戻そうと、仙台市沿岸部の新浜地区に半湿地のビオトープと農業不使用の田圃を新営し、8年ぶりにメダカの野生復帰を実現。メダカ里親活動に250組以上が参加するなど、環境保全をおとした地域内・間交流が広がっている。



お申込・お問合せ先

公益財団法人日本自然保護協会
日本自然保護大賞担当

〒104-0033

東京都中央区新川1-16-10ミトヨビル2F

award@nacsj.or.jp

03-3553-4101(平日10:00~17:00)

<https://www.nacsj.or.jp/award/>



プログラム

15:00 開会

15:05 選考委員長挨拶、総評

15:15 受賞者による活動発表(特別賞2件、大賞3件)

17:00 特別公演「お酒と生物多様性」(中静 透)

17:45 閉会挨拶

*受賞活動発表は約20分ずつ。

選考委員による講評および質疑応答を含みます。

*プログラムの詳細はウェブサイトに随時アップしていきます。

「日本自然保護大賞」ウェブページをご確認ください。

<https://www.nacsj.or.jp/award/>



プレゼンター

亀山 章 日本自然保護大賞選考委員長 / 日本自然保護協会理事長 / 東京農工大学名誉教授

イルカ IUCN親善大使 / シンガーソングライター / 絵本作家

神谷 有二 株式会社山と溪谷社 自然図書出版部部長

谷口 雅保 積水化学工業株式会社 政策調査室

中静 透 国立研究開発法人森林研究・整備機構理事長 / 森林総合研究所所長

吉田 正人 日本自然保護協会専務理事 / 筑波大学大学院教授

特別公演

お酒と生物多様性

中静 透さん (国立研究開発法人森林研究・整備機構理事長 / 森林総合研究所所長)



古来日本人の生活に深くかかわってきた日本酒。各地の名産でもあるお酒の多様性を紐解くと、日本の自然が浮かび上がってきます。日本酒の味の違いはなぜ生まれるのでしょうか？ その違いを生み、多種多様な日本酒を支えるモノこそ「生物多様性」。お酒から「生態系サービス」を学ぶ特別講演です。

*ご来場の場合、シンポジウム終了後、

試飲おみやげ付き懇親会 / 参加費500円にご参加いただけます。

会場アクセス

3×3 Lab Future

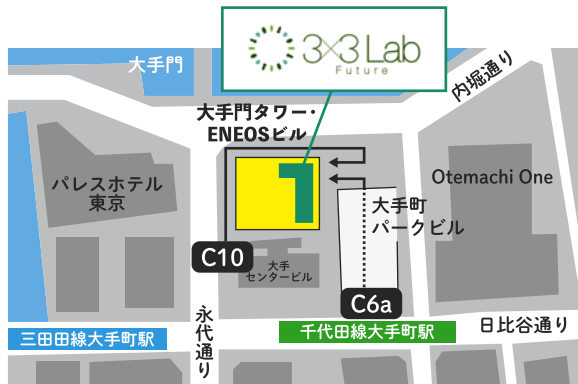
さんさんらぼ ふゅーちやー

東京都千代田区大手町1-1-2 大手門タワー・ENEOSビル1階 ☎03-3287-6200

東京メトロ東西線・千代田線・半蔵門線・丸の内線・都営三田線「大手町駅」

● (C10 出口)より徒歩約2分

● (C6a 出口)より大手町パークビル(地下)、ホリア広場(地上)を通して徒歩約4分



主催
協賛
後援

公益財団法人 日本自然保護協会

経団連自然保護協議会

環境省

国際自然保護連合日本委員会 (IUCN-J)

2030生物多様性枠組実現日本会議 (J-GBF)

自然保護憲章普及協議会

協力

エコツツエリア協会 (一般社団法人 大丸有環境共生型まちづくり推進協会)

